

台湾美食展に出展 ～瀬戸内物産品に興味津々・お好み焼きも大人気～

8月5日(金)～8月8日(月)の4日間、「台湾2016美食展」(財団法人台湾観光協会主催)に瀬戸内ブースを出展しました。瀬戸内ブランド登録商品10社20品目を展示し、そのうち4社7品目は試飲・試食も実施しました。台湾の方々の日本食への興味は非常に高く、試飲・試食に長蛇の列ができるとともに、多くのお客様から「購入したい」「台湾で買えるデパートやスーパーはないの?」というお問い合わせを頂きました。陳列していた各県の観光パンフレットも、短時間で無くなってしまふなど大盛況。瀬戸内ブースに掲示された大きな瀬戸内の地図と代表的な食のパネルをご覧いただき、「瀬戸内全部をまわろうと思うと何日かかりますか?」「神戸ビーフや岡山の桃を購入できる場所はないですか?」との質問も多く頂きました。

美食展初日には香川県の浜田知事が、最終日には岡山県の伊原木知事が視察にお見えになりました。この他、瀬戸内ブース近くの香川県ブースにおいても、うどん試食や、ゆるキャラ「さぬどん」の写真撮影等もあり、瀬戸内関連ブースは大変な賑わいとなりました。

さらに、瀬戸内ブースではサンフーズ株式会社様(広島県広島市南区出島 代表取締役 布崎 正憲)による、お好み焼きの実演販売も行い、多くのお客様が作り方を携帯で撮影。

4日間で530枚を販売しました。お好み焼きソースも大変な人気で、ソースは完売となりました。(プロダクト開発「食」担当 増地)

2016年8月5日～8月8日

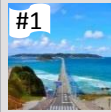


機構メンバー・サンフーズ社・現地スタッフ

瀬戸内Finder 人気記事TOP 5

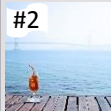


地元ライターによる
瀬戸内情報発信中!
<http://setouchifinder.com>



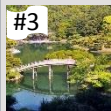
山口県の超絶景
マトメ8選!

山口県



絶景カフェ
& レストラン8選

瀬戸内各地



栗林公園を早朝に
訪れるべき5つの理由

香川県



岡山県「女子旅」に
ピッタリな10の秘密

岡山県



エンジェルロード
と双子浦

香川県



メディア掲載実績

- せとうちDMO関連
2016年7月23日 観光経済新聞
2016年9月号 料理大国
- JRせとうちキャンペーン関連
東京中日スポーツ、スポーツ報知
スポーツニッポン、日刊ゲンダイ
デイリースポーツ、タウンわたらせ
ROLA9月号、愛媛新聞、
トラベルニュース
- 欧州向けプロモーション
(スイス人家族せとうち旅行)
2016年7月11日 交通新聞
2016年7月12日 岡山放送
2016年7月13日 瀬戸内海放送
2016年7月15日 中国新聞
- 台湾LCC機内に広告
2016年7月29日 中国新聞
2016年8月9日 毎日新聞
- 台湾美食展
2016年8月7日 自由時報
- 瀬戸内ブランド登録
2016年8月3日 愛媛新聞
- ファンド1号案件
2016年8月9日 時事通信web
PRESIDENT Online
2016年8月10日 日経新聞
2016年8月10日 中国新聞
- 瀬戸内観光情報
2016年8月 good Luck瀬戸内山陰
2016年8月 Japan Walker

ファンド第一号案件決定！ 新規クルーズ事業へ支援

8月9日(火)、せとうちDMOは株式会社せとうちクルーズが予定する新規クルーズ事業への支援を決定しました。同事業では、2017年9月から新造船「guntū(ガンツウ)」を宿泊型のクルーズとして運航を開始する予定です。瀬戸内海沿岸の景勝地を周遊し、今までにない上質な旅が体験できます。

今回の案件は、瀬戸内ブランドコーポレーションが、「せとうち観光活性化ファンド」を活用する第一号案件です。瀬戸内ブランドコーポレーションがファンドを通じて新造船「guntū(ガンツウ)」の建造資金の一部を拠出するとともに、せとうち観光推進機構と一体となってクルーズ船の事業化支援を行います。

2016年8月9日

日本で半世紀ぶり 水陸両用機 航空運送事業を開始

8月10日(水)、株式会社せとうちSEAPLANESは、広島県尾道市にあるオノミチフローティングポートを拠点とした遊覧飛行を開始しました。水面から空へ、新しい価値とせとうちの魅力を発信します。

同日、オープニングセレモニーが開催され、せとうち観光推進機構より村橋が、瀬戸内ブランドコーポレーションより水上が参加し、海上から上空へ飛び立つ水上飛行機の魅力を目の前で体感しました。半世紀ぶりの水陸両用機の活躍に、今後の期待が膨らみます。

2016年8月10日



Photo:Tetsuya Ito@SETOUCHI SEAPLANES

「西日本秋季フードコンベンション2016」に瀬戸内ブランド商品を展示

食品卸売業界大手の日本アクセス様主催の「西日本秋季フードコンベンション2016」展示会が7月21日(木)～22日(金)の2日間、インテックス大阪にて開催され、瀬戸内ブランド商品を展示頂きました。期間中は、百貨店・スーパー・レストランの関係者約5000人が来場し、皆様に瀬戸内ブランド商品をPRすることができました。

展示会には、食品メーカー約500社が出展。会場の2割程のスペースを地域産品が占めており、北海道、沖縄、各県から一押し逸品を出展していました。瀬戸内コーナーではワゴン2台を設置し、1台は瀬戸内ブランド商品の中から日本アクセス様が選定されたレモン関連商品を約30品展示、もう1台では広島協同乳業様の新感覚乳飲料「瀬戸内レモン」の展示と試飲が行われました。両コーナーとも、たくさんの方が商品を手にとられたり試飲を楽しんだりされました。せとうちDMOのパンフレットを持ち帰られた方も多く、瀬戸内ブランドのアピールにつながりました。(プロダクト開発「地域産品」担当 田中) 2016年7月21日～22日



▲瀬戸内ブランドコーナーの様子

瀬戸内ブランド登録商品 新たに43商品を追加登録

せとうち観光推進機構では、4月～6月の間に瀬戸内ブランド登録商品へ申請があったものについて審査を行い、43商品を新たに「瀬戸内ブランド」として登録しました。今回の登録は2016年3月の当機構の設立後、初の登録となります。

機構では、瀬戸内エリア特有の「自然(島や内海)」、「食」、「歴史」といった資産をもとに開発され、瀬戸内ブランドのアイデンティティを体現する商品・サービスを審査し「瀬戸内ブランド」として登録しています。瀬戸内7県の、主に農水産物を原材料に使用して創意工夫がなされている点や、瀬戸内を想起するパッケージデザインなどを選定基準に設け、登録された商品には瀬戸内ブランドマークを付与しています。

この度の登録により、瀬戸内ブランド推進連合で登録された商品・サービスと合わせて、197社、576商品・32サービスが「瀬戸内ブランド」として展開されることになりました。

今後も、豊富な瀬戸内の資産に基づいて開発された瀬戸内の商品・サービスを「瀬戸内ブランド」に登録し、国内外から認められるブランドの確立を目指してまいります。

これぞ瀬戸内！というものがありましたら、ご応募ください。

応募方法はこちら→<http://setouchitourism.or.jp/business/products/>
(プロダクト開発「地域産品」担当 田中)

2016年8月2日



ブランド登録商品例

ジャパンショッピングフェスティバル 海外メディアが瀬戸内来訪

ショッピングを軸として訪日客を呼び込む観光プロモーション「ジャパンショッピングフェスティバル2016' Summer」(一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会主催)が7～8月に開催されました。その一環として、中国・香港・台湾・韓国・タイのメディア(ブロガー、旅行誌、フリーペーパー)や、瀬戸内Finderをはじめとする海外向け国内メディアが、7月29日(金)と30日(土)に岡山県岡山市と香川県高松市の商店街や百貨店を視察するとともに、桃狩りやうどん打ち等の体験メニューに参加しました。

このイベントには、せとうち観光推進機構も後援し、岡山や香川だけではなく瀬戸内7県の魅力もPRしたところ、海外メディアの方々は瀬戸内に関心を持たれ、瀬戸大橋移動中のバスでは、瀬戸内海の穏やかな海と多島美の風景に感動し、何枚もの写真を撮られていました。また、30日に香川県高松市で開催されたセレモニーでは、香川の伝統芸能や食が振舞われ、招聘されたメディアの方々だけでなく、ちょうど香川を観光中の外国人旅行者の方々も参加され、多くの外国人のお客様で活気づくセレモニーとなりました。(エリアマネジメント 河井・竹本) 2016年7月29日～30日



▲セレモニーの様子

スイス人ファミリー続編！！ “徳島県三好市の旅”

欧州向けプロモーションとして実施している「スイス人ファミリーのキャンピングカーで瀬戸内を巡る旅」は、徳島県三好市に突入。三好市観光課様及び(一社)三好市観光協会様のご協力の下、地元の皆様には、とても温かいおもてなしをいただきました。三好市様には当日のアテンド＆通訳だけでなく、ファミリーに細かく配慮ができるよう、訪問先も含めた事前の念入りな打ち合わせをして頂きました。これにより、壮大な大歩危峽を遊覧船で楽しめる「ホテル大歩危峡まんなか」様では、スイス国旗のシールを貼ったミネラルウォーター、スイス国旗、そして手作りの看板が用意されるなど、ホテルスタッフの皆様による準備が行われ、大歓迎ムードに、ファミリーは大変喜ばれました。

旅行終了後、家族のHPに大歩危の美しい自然を撮影した写真がアップロードされていました。各地での人と人との出会い、触れ合いを大事にしている一家にとって欠けがえのない思い出になったようです。

三好市には「訪れた方に楽しんでもらう」ための気配りがあふれていました。
(エリアマネジメント 矢野)

2016年7月16日



▼みなさん良い笑顔です。

フランスのガイドブック「プティ・フテ瀬戸内版」の現地取材完了！

前号でお知らせした、フランスのガイドブック「プティ・フテ瀬戸内版」の記者現地取材が無事終了しました。海外プロモーション欧州担当の村岡は、岡山県瀬戸内市の「備前長船刀剣博物館」および「牛窓神社」の取材に同行。備前長船刀剣博物館では、記者の方が古式鍛錬の見学をはじめ、刀剣づくりの各工程を熱心に取材されていました。また、牛窓神社では夏季期間限定の「茅の輪ぐり」を体験されるなど、日本の伝統文化を存分に感じられたようです。

各県・市町の皆様のご協力により、取材行程を円滑かつ無事に終わることができましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。せとうち観光推進機構では、来年3月の出版に向けて、引き続きフランス人記者およびコーディネータと密に連携しつつ、より魅力的なガイドブックとなるよう準備を進めてまいりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。(海外プロモーション 村岡)

2016年8月5日



せとうちDMOメンバー 徳島県の阿波踊りに初挑戦！



▲踊る阿呆になりました！

毎年お盆の時期に開催される阿波踊り。「ア、ヤットサー！ア、ヤットヤット！」等の掛け声や「ぞめき」に合わせて、踊る阿呆も見る阿呆も阿波踊りを楽しみつくします。

8月12日、機構の理事でもある徳島県商工労働観光部次長の仁木様にお誘いいただき、せとうちDMOメンバーも阿波踊りに参加しました！

メンバー全員が阿波踊り未経験ということもあり、踊る前は不安でいっぱいだったものの、いざ踊りだすと自然に身体が「ぞめき」のリズムに乗りました。踊って楽しかったのはもちろん、阿波踊りを愛する地元の方々実際に踊ったことで、「阿波踊り」が徳島の、そして瀬戸内の大事な資産だと実感でき、愛着も芽生えました。

阿波踊りの他にも、瀬戸内には愛すべきお祭りや伝統行事が多くあります。せとうちDMOではこれからも様々なお祭りやイベントに参加して、地域を盛り上げて参ります。(エリアマネジメント 矢野)

2016年8月12日

山口県のアート資産・サイクリングコースを視察



秋吉台国際芸術村

瀬戸内のもつ観光資源の視察と地域との連携強化を目的に、せとうち観光推進機構のアートチームとサイクリングチームが山口県を訪問しました。

アートチームは県立美術館、秋吉台国際芸術村、ルネッサ長門を視察。各施設の設備とスケールの大きさには圧倒されました。サイクリングチームは8月27日(土)・28日(日)に開催された「藩庁門タイムトライアル」「みねすところん2016」のコースのほか、長門市の向津具半島を望むサイクリングルートなどを視察。

関係者と現状の課題や今後の活用等について意見交換を行いました。

せとうちDMOでは今後も瀬戸内の各地を訪問し、皆様とコミュニケーションを重ねながら、地域との関係を強化し連携を推進して参ります。(エリアマネジメント 伊藤)

2016年8月16日

事業本部長 村橋の講演実績



◆講演登壇 実績◆

- 7月13日 広島経済同友会 備北支部 at庄原グランドホテル
- 7月21日 広島西グリーン会研修会
- 8月4日 三井物産 食品メーカー会

☆講演のご依頼は編集部: 矢野まで

Tel:082-836-3217

Mail:y.yano@setouchitourism.or.jp



今月のリッチなひとこと

～これを読めばあなたもリッチになれる～

ヤットサーヤットサー！ヤットヤット！！...わかりますか？徳島の阿波踊りに使われる掛け声です！意味は「久しぶり！元気？」だそうです。今年は8月12日～15日に開催され、徳島市内がダンスステージに大変身！「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃンソン」とはよく言ったもので、いたるところで老若男女が踊りだし、見ている人も盛り上がる活気に溢れたお祭りでした。そして私は「とくしま連」に参加して初の阿波踊りを体験。しかも偶然取材していた「瀬戸内Finder(ファインダー)」の記者のカメラに写りこみ、私の阿呆が瀬戸内Finderに掲載されました！（たまたまです。）

こちらが証写真です。見つかるかな？→

